

# 第20回 化粧品包装セミナー

## —化粧品容器のトレンドと最新技術動向—

日程：平成27年7月17日(金) 12:30 ~ 16:40

会場：スペースFS汐留

主催：公益社団法人日本包装技術協会

### ご参加のお勧め

本セミナーも20回目を迎え、今回は『化粧品容器のトレンドと最新技術動向』と銘打って開催いたします。又、初めての試みで講演者の方々と当セミナー企画委員が参画し、皆様からの本講演に対しての質問に、それぞれの立場でお答えさせていただきます。

モノを造る立場は一緒でも依頼する側、受ける側の立場の違いも聞けると思います。

どうぞ今回企画の本セミナーに数多くの方々のご参加お待ちしております。

企画委員一同

### プログラム

時間	講演内容	講師
12:30 ▼ 13:30	<p><b>『化粧品ラベルの最新動向』</b></p> <p>①<b>化粧品業界で使用されるラベル材料の紹介</b> 日常生活の中では様々な目的で「ラベル」が使用されています。また、その目的に伴う用途や環境によって選定される粘着ラベル素材は千差万別です。今回は化粧品包装用途で利用される粘着ラベル素材の中でも特に本来の製品が有する価値をより高めるために活用できる技術を紹介させていただきます。</p> <p>②<b>偽造防止技術 真贋判定印刷「シールベクター」</b> ヨーロッパで採用が進むその技術は、フランスのアドバンストラック&amp;トレース社が開発したマーキング技術とスマートフォンで真贋判定をする比類ないソリューションです。特別な追加設備は必要とせず、シール・ラベル・パッケージに印刷するだけで偽造を防止する事が出来ます。フランス中央銀行・ウクライナ政府・中国品証マークに採用され、EU半導体団体の推奨技術で、年間約70億個の商品に利用されています。友功社は、「シールベクター印刷パートナー」として認定を受けており唯一の総代理店であるDIG様とともに、その技術を使い広く化粧品業界へ向け案内致します。</p>	<p>①リンテック株式会社 技術・開発室 営業技術グループ係長 <b>原田 健司 氏</b></p> <p>②株式会社友功社 代表取締役社長 <b>大野 玄太郎 氏</b></p>
13:40 ▼ 14:30	<p><b>『レーザー加工を用いた化粧品容器への表面加飾について —加工技術とデザインの融合—』</b></p> <p>化粧品容器に対する表面加飾は多種多様な手法を駆使しており、当社では「レーザー加工」を特長技術として研究・開発・製品化を進めてまいりました。では、なぜレーザー加工技術に着目をしたのか？デザインと加飾技術の融合に対する考え方とその効果についての事例をご紹介します。</p>	<p>紀伊産業株式会社 化粧品営業部 課長 <b>片山 就介 氏</b></p>
14:40 ▼ 15:30	<p><b>『化粧品容器の最新情報(形態別トレンドについて)』</b></p> <p>化粧品容器は、商品コンセプトをビジュアルで表現しお客様にその価値を伝える手段として食品(シズル効果)や家電製品(高機能感)と共にますます重要になっている。特に中高価格商品では、容器形状や加飾に加え重量感や閉音などにも拘り設計がされている。2000年以降、スキンケア商品の大容量化に伴うガラス容器から樹脂容器への変更やポンプ仕様商品の採用など、高級感を出しつつユニバーサルや人間工学などを意識し利便性をコンセプトにした商品も増えつつある。また、中国や韓国の化粧品及び容器メーカーの台頭により、アイデア次第では日本と同等以上の高機能な商品の開発・製造が可能な時代に突入している。今回は、海外製品を含め最近の化粧品容器のトレンドを形態別に紹介する。</p>	<p>株式会社トキワ グローバルテクノロジーセンター 主席研究員 <b>井上 隆 氏</b></p>
15:40 ▼ 16:40	<p><b>『質問タイム』 回答者：片山講師・井上講師・セミナー企画委員</b></p> <p>化粧品パッケージについて事前に参加者の皆様に質問用紙を配布し質問を受け付けます。上記講演に関する質問と併せて、講演者と本セミナー企画委員にそれぞれの立場でお応え頂きます。</p>	

### 化粧品包装セミナー企画委員 \*本催しは各企業から代表された企画委員によりプログラムを編成しております

主査 住瀬 雅広 氏 株式会社DSC 代表取締役社長  
木本 喜久 氏 株式会社資生堂 化粧品開発センター 外装開発グループ 副主幹研究員  
直井 正宏 氏 株式会社コーセー 商品デザイン部 設計課 主任専門職  
鈴木 智晴 氏 株式会社ポーラ デザイン研究室  
岡 政弘 氏 花王株式会社 包装容器開発研究所 主任研究員 グループリーダー



# 講師のご紹介

## 原田 健司 氏

リンテック株式会社 技術・開発室  
営業技術グループ 係長

### 【ご略歴】

1998年 リンテック株式会社入社  
営業職、研究職を経て、2006年 技術・開発室  
営業技術グループ(現部署)に所属  
現部署では、印刷ラベル関連製品の新規製品開  
発や営業サポート業務に従事

## 大野 玄太郎 氏

株式会社友功社 代表取締役社長

### 【ご略歴】

友功社は昭和45年に創業開始以来、ラベル印  
刷・シール印刷の専門として着実に信頼を築き上  
げてきました。コンピューターによるデザイン、版  
下、製版等をユーザーとオンライン化し、印刷・加  
工までの一貫生産を行っております。数々の新商  
品を開発し、皆様に安定した商品の供給を行って  
おり、フレキシラベルについては、平成13年9月  
世界ラベルコンテストにおいて最優秀賞を受賞し  
ています。

## 片山 就介 氏

紀伊産業株式会社  
化粧品営業部 課長

### 【ご略歴】

2008年10月 紀伊産業株式会社入社  
化粧品営業部 配属  
紀伊産業は、顧客からの委託を受け、化粧品の企  
画立案(含むデザイン)、容器の開発及び設計をは  
じめ化粧品販促物や店頭什器等、化粧品を取り巻  
く様々な製品を準備しております。

## 井上 隆 氏

株式会社トキワ  
グローバルテクノロジーセンター  
主席研究員

### 【ご略歴】

1971年 株式会社資生堂 鎌倉工場入社  
1975年 同社 技術部 外装技術・品質保証  
1999年 株式会社資生堂本社 購買部(材料  
購買)  
2002年 生産技術開発センター  
2005年 宣伝制作部(パッケージプロデュース)  
2009年 株式会社資生堂退社  
2010年 株式会社トキワ入社  
グローバルテクノロジーセンター  
新規外装設計及び開発を担当



## 講演要領

日時:平成27年7月17日(金) 12:30 ~ 16:40

会場:「スペースFS汐留」

東京都港区東新橋1-1-16 汐留FSビル3F

参加費:会員16,200円(消費税・テキスト代含む)

\*同時に3名以上でお申込みの場合には、  
割引価格として1名12,960円(消費税・テキスト代含む)  
一般19,440円(消費税・テキスト代含む)

定員:120名



## お申込み方法

■本紙申込書に必要事項を全てご記入の上、FAXにてお申込み下さい。  
協会ホームページからお申込みできます。

\*協会ホームページ: <http://www.jpi.or.jp>にてホームページを検索し、各  
種・催事から「第20回化粧品包装セミナー」を開いて下さい。ページ  
末の申込みフォームに必要事項をご記入して送信下さい。

■申込みされた方には、後日参加証と請求書をお送りします。

■当日、ご都合が悪くなった場合、代理の方の出席は差し支えありません。  
(受付にて名刺をご提出いただきます)



## お問合せ並びに申込み先

公益社団法人日本包装技術協会 化粧品包装セミナー係 担当:竹内  
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F  
TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

### 【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「第20回化粧品包装セミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

## 会場案内図

■会場:「スペースFS汐留」  
東京都港区東新橋1-1-16 汐留FSビル3F

■アクセス:JR新橋駅 汐留口 徒歩3分  
地下鉄 東京メトロ銀座線 新橋駅 2番出口 徒歩3分  
都営浅草線 新橋駅 汐留1番出口 徒歩1分  
都営大江戸線 汐留駅 徒歩4分  
ゆりかもめ 新橋駅 徒歩1分



※ホール入り口は、建物正面右側の専用階段を上って下さい

# 第20回化粧品包装セミナー(7月17日開催)参加申込書

公益社団法人日本包装技術協会 化粧品包装セミナー係 担当:竹内 FAX.03(3543)8970 No

会社名	JPI会員 ・ 一般 (どちらかに○を付けて下さい)				
所在地	(〒 )				
電話			FAX		
参加者名	所属役職		e-mail		
	所属役職		e-mail		
	所属役職		e-mail		